

平成29年度 市野与進こども園事業計画

平成29年度 浜松市の方向転換により弾力運用ができることとなり、定員140名のところ15I名でスタートします。東区は、まだまだ待機児童多く市として 教育・保育施設2カ園募集をしています。

また 保育教諭不足はこの園も同じく募集を行っても、人が集まってこないのが現状です。このような中 市野与進こども園は、平成29年度増築が始まり、安全に十分に配慮しながら運営を行っていくつもりです。

「魅力あるこども園づくり」は大きな課題としてかわらず、①「教育・保育の質の向上」②「保育教諭の働きやすい職場づくり」③「地域にねざした園づくり」をめざし、29年度の園運営を実施していきたいと考えております。

法人の理念

「子どもは一人ひとりがあらゆる可能性を持っている宝であり、わが国の将来を担う希望である。私たちの目指すものは、その子ども一人ひとりにあつた豊かな発達を促すことである」

保育園の理念

「利用者の立場に立ち、人と人とのつながりを大切にしながら 子どもの発達を促す保育」

重点目標及び重点施策への取り組み

「魅力あるこども園づくり」を最大の課題の中で

①保育教諭と教育・保育の質の向上

昨年取り組んできた「子どもの心育ち」を引き続き実施し、「親子ふれあいの日」を設定していきます。スキンシップをかねながら子どもの心の変化に気付いてもらえるよう、親・保育教諭の大人とのふれあいに力を入れていきたいと考えています。

また「子どもの心の育ちを大切する保育」エピソード研修も、ただ年数を重ねている部分も見られますので、昨年研修を受けた加藤繁美氏・「心の育ちと対話する保育」の研修の内容も取り入れ、こどもの心に寄り添う保育教諭になるよう研修を進めていきたい思っております。また3月に個人発表ができるよう考えております。

保育の見える化「伝えよう保育内容」では

保護者に子どもの様子を伝えるため「1日の保育の振りかえりシート」を書き、27年度から実施してきた「1分間コミュニケーション」を継続実施いたします。

※職員研修

法人研修として平成30年度から改正される保育所保育指針について関西大学山縣先生を招いて研修を実施

自己チェックからくる市野与進こども園が一番落ち込んでいる食育研修に対して講師を招き年4回実施する予定です。自己チェック内容もインターネットで公表していく予定です。

職員実技研修……………実技として講師を招いてふれあい遊びの研修の充実

②保育教諭の働きやすい職場づくり

効率よく仕事を進める。

年次休暇を取りやすくする。

保育教諭不足もあり、非常勤の育児休業の取得

個人面談を通して現実に沿った職場

③地域子育て

※子育て支援として……………利用者・地域子育て親の一番大切なことを「子どもが人として生きていくために」として

絆ができるふれあい遊びを引き続く実施

離乳食教室

助産師による妊婦・子育て中の母親教室

地域の子育てをしている母親にベビーマッサージを通して「子どもの心育て」を伝える。

※小学校連携の計画作成を実践する

作成にあたっては 近隣のこども園・幼稚園・小学校を視野に入れた計画づくりをする

法人の基本方針	概 要	内 容
<p>1. 保育サービスの質の向上</p>	<p>① 新保育指針、認定こども園教育・保育要領、放課後児童クラブ運営指針(以下保育指針等)に沿った保育の実践</p> <p>② 国、市の方針、環境変化に応じた園の経営</p>	<p>職員</p> <p>★ 保育指針改正に向けた研修 6/24(土) 関西大学 山縣先生の研修会 旧保育指針と新保育指針の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ こども園教育・保育要領勉強会 ◇ 保育教諭主導の「させる保育」から子ども自ら「やってみよう保育」へ ◇ こども園教育・保育要領と新保育指針の内容検討・・・園内研修等 ◇ 保育に生かせる自己チェック内容分析・・・ 「子どもの心育ちと受け止め」 「食育」 ◇ 事故防止からくる子どもの育ち分析・・・ (事故報告・ヒヤリハット研修の中で保育の見直し) <p>園の目標</p> <p>★ 教育・保育の遊びを通して（生きる力の基礎づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 人としての育ち、園での教育の在り方をしっかりと認識しながら「生きる力」の基礎を育てる <ul style="list-style-type: none"> ・人との関わり・・・ ・自分の思いを言葉にする ・集団生活や遊びのルールを守る ・相手を思う気持ちを育てる ・基本的な生活習慣の確立 <p style="text-align: right;">} を育てる</p> <p>「養護」</p> <p>★ 情緒の安定や大人との信頼関係を図りながら、日々心安らかに安心して生活を送る。</p> <p>「教育」</p> <p>★ 情緒の安定と5感を大切にしながら「挑戦する気持ち」、「意欲」、「体験する楽しさ」を育てる。 (見る→意欲(やってみよう)→真似る(おもしろい)→学ぶ)</p> <p>★ 3歳以上児の教育・保育テーマ「意欲を持って何にでも挑戦する子を育てる」保育教諭は一人ひとりの関わりを大切にしながら、保育教諭の思いと子どもの思いを絡み合わせ、「明日につながる振り返り」を行う。</p> <p>★人としての基本的マナーを身につける (あいさつ・履物を揃える・自分の持ち物の整理整頓など)</p> <p>★ こども園移行後の組織・システムの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 職員1人ひとりの能力評価の充実(内容の構築) ★ 小学校連携に向けた年間計画作成 ★ 全職員のエピソード研修「子どもの ★ 平成30年度に向けて1号認定受け入れ準備

法人の基本方針	概 要	内 容
	<p>③ 保護者への積極的な子育て支援</p> <p>④ 保育環境の整備</p> <p>⑤ 環境を守る取り組み</p> <p>⑥ タイムリーな情報発信</p>	<p>★ 親育ちを考える。(子どもが人として育つために)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 子育て支援を実施するとともに子どもの「心育」の大切さを知らせる ◇ 子育てに大切なこと・職員による親子触れあい遊びの提唱 ◇ 祝日保育の実施 <p>★ 増改築に向けて保護者説明を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 職員配置の充実・・・0歳児 3 対 1に1名加配 1歳児 5 対 1 ◇ 予算計画合わせた備品購入 <p>★ 社会状況・経営状況を1人ひとり把握し、職員全員ができることから始める</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 節電対策・・・電力会社情報資料の有効活用と職員伝達 ◇ ゴミの省力化 職員・3歳以上児に「自分のポケットにハンカチを」運動実施 ◇ 園児たちに資源の大切さを知らせる 水の出し出っ放し・漏水等の確認 ◇ 家庭での空き缶回収 <p>★責任者は運営状況をHPや閲覧しやすいように提示する。</p> <p>★地域・利用者・就職希望者に向けた教育・保育内容が見えることも園</p> <p>ホームページを通して、子どもの笑顔、行動など様子がしっかりと伝わるように伝え方を工夫する。</p> <p>★教育・保育のプロセスを保護者に伝える</p> <p>(園の考えや保育教諭の思い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 教育・保育の様子をよりイメージしやすく伝える ◇ エピソード記録に基づき、ボード・ホームページ・クラス便り・行事・教育・保育の取り組み発表・園内掲示利用して伝える ◇ 平成28年度に引き続き、正規・非常勤・パート職員も含めて教育・保育の記録(1日の振り返り)の取り方の研修
<p>2. 職員の確保・育成</p>	<p>① 働きやすい環境づくり、待遇改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ 早期採用計画を明確にする。各園の情報収集を行う ★ 5月に行う県保連・浜松民間園長会主催の合同就職説明会の有効利用を行う ★ 法人全体、職員全体で、積極的な新規採用活動を実施する。 ★ 新規採用募集要項を見直しながら、計画を立案する ★ 職員の給与改定による処遇改善を進める。 ★ 責任を明確した役割分担 ★ 面談・対話を通し、園長・主幹教諭に意見を言いやす環境をつくる ★ 正規職員・パート職員が自己発揮できる職場づくり ★ 有給休暇を取りやすい人事配置を行う。

法人の基本方針	概 要	内 容
	② 計画的な研修 ③ タイムリーな情報発信	★ 結婚・育児のしやすい職場環境の構築 ★ 「選ばれるこども園」をめざした人材育成をする。園内研修の充実 ★ 保育指針改正に向けた法人研修 ★ 自己チェック分析からくる食育研修（年4回 吉田たか子氏） ★ ふれあい遊びのための研修・・・年2回 ★ 正規・パートとの区別なく全員が研修に参加ができるよう配慮を行う ★ 正規職員・パート職員がともに同じ研修に参加 ★ 新たなキャリアパス研修計画の策定 ★ 職員間での情報を共有する。
3. 地域への貢献	① 地域貢献活動の充実 ② タイムリーに情報発信 ③ 環境を守る取り組み	★ 親子ひろばのプログラム ★ 手作り離乳食とおやつ ★ 妊婦懇談会(マタニティーカフェ)・・・妊産婦と助産師及び職員懇談会 ★ 子育て中の親と職員の交流会(マザースクエア) ★ 親子触れあい遊びクラブ 1歳～2歳 ★ ベビーマッサージ・・・子育てに大切なこと。・1回コース ★ 保育参加・・・子どもとの関わり方や遊びの様子を見て、家庭での子育ての参考にしてもらう ★ 地域ボランティアの活用とこども園 教育・保育の情報発信をする ★ 子育てボランティアの活用 ・親子広場での育児相談 ★ 待機児童保護者及び将来保育園・こども園に預けたい保護者に情報提供。保護者の悩みの共有・支援
4. 法人、基盤強化	① 法人組織の強化(法改正への対応) ② 経営の把握と無駄の排除 ③ 国、市の方針、環境変化に応じた園の経営	★こども園公定価格による収入・支出のバランスを考えながら、健全なこども園運営を行う。 事前調査をしっかりと行い、計画的に予算編成をする ★責任者は職員に運営状況を丁寧に説明する

